

平成 22 年度事業報告書

I. 法人の概要

□教育方針

教育方針

使 命

生徒に夢と希望を与え、生きる力を育み
「自立した、社会に
貢献できる女性を育てる」

スローガン

The Creation of Character
個性創造
— Change for the Better —

重点目標

- ① 基礎学力の向上
- ② 女性としての教養と
マナーの習得

やればできるは魔法の言葉
自分サイズの未来を拓く
チャンス・メーカー 好文学園

学校長 延原 観司

□学校法人の沿革

昭和 12 年 2 月(1937)	大阪商科女学校として大阪市福島区上福島西通に、実業家・臼谷吉五郎が私財を投入して創設
昭和 12 年 4 月(1937)	創立
昭和 19 年 3 月(1944)	文部省中学校令により財団法人設立許可、大阪福島女子商業学校と改称(修業年限 4 ヲ年)
昭和 22 年 3 月(1947)	中学校令改正により修業年限 5 ヲ年となる
昭和 23 年 4 月(1948)	学制改革により新制高校大阪福島高等学校となる
昭和 25 年 3 月(1950)	大阪工業高等学校(定時制)を併設
昭和 26 年 3 月(1951)	新法令による学校法人大阪福島学園認可
昭和 33 年 1 月(1958)	校舎類焼、現在地へ移転
昭和 35 年 4 月(1960)	大阪福島女子高等学校と改称
昭和 42 年 11 月(1967)	創立 30 周年記念式典を挙行
昭和 48 年 4 月(1973)	普通科併設
昭和 49 年 3 月(1974)	別館 1 号増築竣工
昭和 52 年 4 月(1977)	創立 40 周年記念式典を挙行
昭和 54 年 4 月(1979)	第 2 体育館竣工、テニスコート 2 面完成
昭和 60 年 3 月(1985)	別館 2 号竣工
昭和 62 年 4 月(1987)	商業科情報処理コース、普通科特進コース設置
昭和 62 年 6 月(1987)	別館 3 号竣工
昭和 62 年 6 月(1987)	創立 50 周年記念式典を挙行
平成元年 8 月(1989)	ホームステイ(アメリカ合衆国ユタ州)実施
平成元年 10 月(1989)	全国私学教育研究集会大阪大会商業分科会開催
平成 6 年 4 月(1994)	別館 4 号竣工
平成 7 年 4 月(1995)	弓道部インターハイ女子団体初優勝
平成 8 年 4 月(1996)	PLC アーミディル校姉妹校提携(オーストラリア)
平成 11 年 4 月(1999)	ビジネス科(情報コース・ビジネスコース)、普通科に学科改変
平成 13 年 3 月(2001)	カナダ語学研修旅行実施(以降定期的に実施)
平成 14 年 4 月(2002)	情報ビジネス科(情報コース・ビジネスコース)、普通科(総合コース・英会話コース・デザイン美術コース)に学科改変
平成 16 年 4 月(2004)	普通科に体育コース・保育コース設置
平成 18 年 4 月(2006)	情報ビジネス科募集停止 普通科に情報コミュニケーションコース設置
平成 19 年 4 月(2007)	創立 70 周年 マンガ・アニメーションコース設置
平成 20 年 4 月(2008)	好文学園女子高等学校に改称 特進選抜コース、標準進学コース、総合選択コース、IT ライセンスコース設置
平成 21 年 4 月(2009)	校庭の芝生化を実施

□設置学科と定員

①全日制 普通科 7コース

(特進、総合、デザイン美術、マンガ・アニメーション、体育、保育進学、ITライセンス)

②定員 1,080名 募集定員 280名

□平成 22 年度 入学金・授業料等(千円)

検定料		20
入学金		200
授業料	1年	480
	2年	480
	3年	415

□役員・評議員・教職員の概要

・役員 理事 … 5名 (常勤 4名 ・ 非常勤 1名)
監事 … 2名 (常勤 0名 ・ 非常勤 2名)

・評議員 … 14名

・教職員 … 72名
専任教員 48名 非常勤教員等 18名
専任職員 6名

Ⅱ. 事業の概要

□概要

- ①平成 22 年度入学生 297 名より土曜授業を実施。
- ②新生好文学園としての 1 期生 255 名が卒業。
- ③平成 21 年度導入の人事考課制度の給与反映を実施、36 協定の本格締結、変形労働時間制の継続実施により、さらなる労働環境整備とやりがいある職場づくりを進化させた。
- ④生徒指導面では転退学者の減少、学力向上分野では国公立大学等合格実績の大幅増、生徒募集面では H23 年度 397 名入学者(前年+100 名)など、日頃の校務活動成果が顕著であった。

□法人

①役員人事

- ・理事(評議員):白出博之 退任 (顧問弁護士・評議員、平成 22 年 11 月 30 日付)
- ・理事(評議員):佐古祐二 新任 (顧問弁護士・評議員、平成 22 年 12 月 1 日付)

②規程制定・改訂

- ・(36 協定締結に伴い)給与規程改訂

③勤務体系

- ・人事考課制度の継続と平成 21 年度考課結果を給与反映
- ・1 年単位の変形労働時間制継続実施(年間労働時間 1944.5 時間)
- ・36 協定締結

□高等学校

①生徒数

- ・H21 年度卒業生…………… 230 名
- ・H22 年度入学生…………… 297 名
- ・H22 年度期首在校生…………… 794 名
- ・H22 年度卒業生…………… 250 名
- ・H23 年度入学生…………… 397 名
- ・H23 年度期首在校生…………… 904 名

②入試広報

- ・見学会・体験学習会の多様化、助成物・HP の刷新、中学・塾訪問の効率化等本校施策の積極展開に加え、大阪府支援補助金の拡大もフォロー要因となり、「見学会参加者」、「受験者」、「入学者」が前年比大幅増。(対前年増減)

入学者:397 名(+100 名)

見学会参加者…………… 1,782 名(+493 名)

受験者…………… 750 名(+159 名)

③生徒指導

- ・登下校時指導、身だしなみ指導、問題防止と早期解決のためのイエローカード制等の体系的継続的取り組みにより、しつけマナーの向上と転退学率が僅かに減少
- ・文化祭等学校行事への積極参加と質的向上
- ・美化・緑化・エコ活動の継続実施により生徒資質と外部評価向上

④教務・学力向上

- ・河合塾連携特進コース I 期生が成果⇒中堅国公立 6 名、関関同立 7 名、産近甲龍 16 名
- ・チュートリアルシステムにより特進以外からも京産大等 6 名合格
- ・大半を占める一般コースは D ゾーン比率改善には至らず課題持越し

Ⅲ. 財務の概要

* 別添 平成 22 年度 資金収支計算書 消費収支計算書 貸借対照表 財産目録
監査報告書 参照

以上